

8月12日 フィリピン諸島、ミンダナオの地震

2021年8月12日02時46分（日本時間、以下同じ）にフィリピン諸島、ミンダナオの深さ57kmでMw7.1の地震が発生した。この地震の発震機構（気象庁によるCMT解）は東西方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

気象庁は、この地震に対して、同日03時10分、及び03時35分に北西太平洋津波情報を発表した。また、同日03時17分に遠地地震に関する情報（日本沿岸で若干の海面変動あり）を発表した。

この地震により、インドネシアのビトゥン、フィリピンのダバオで微弱な津波を観測した。

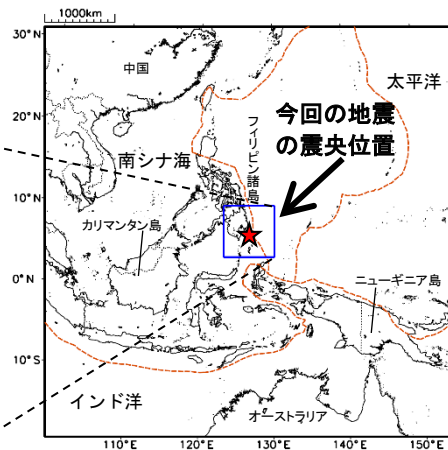
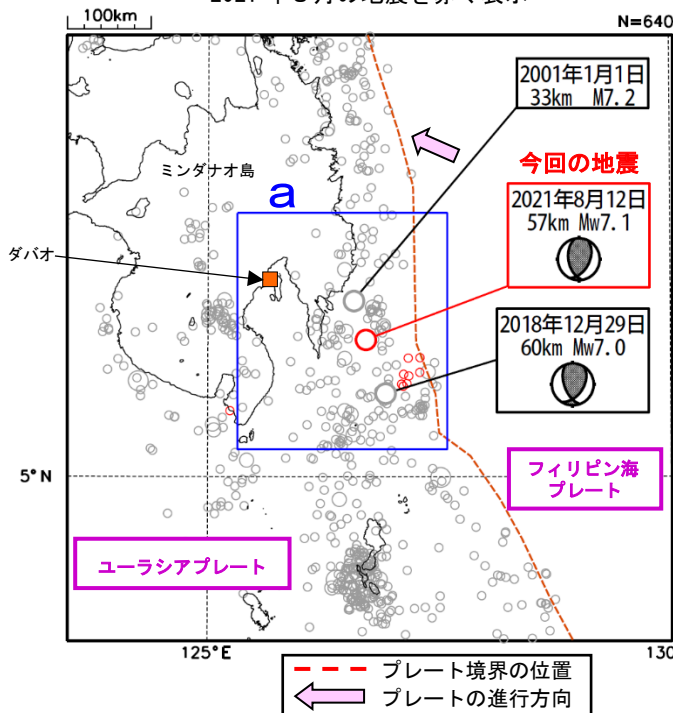
2000年以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）では、M6.0以上の地震が時々発生している。

1910年以降の活動をみると、フィリピン諸島周辺（領域b）では、M7.0以上の地震が時々発生している。1976年8月16日に発生したM8.0の地震では、この地震による津波が発生したほか、死者8000人の被害が生じた。

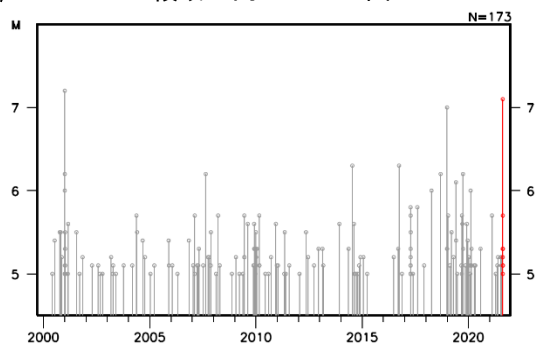
震央分布図

(2000年1月1日～2021年8月31日、深さ0～100km、M≥5.0)

2021年8月の地震を赤く表示

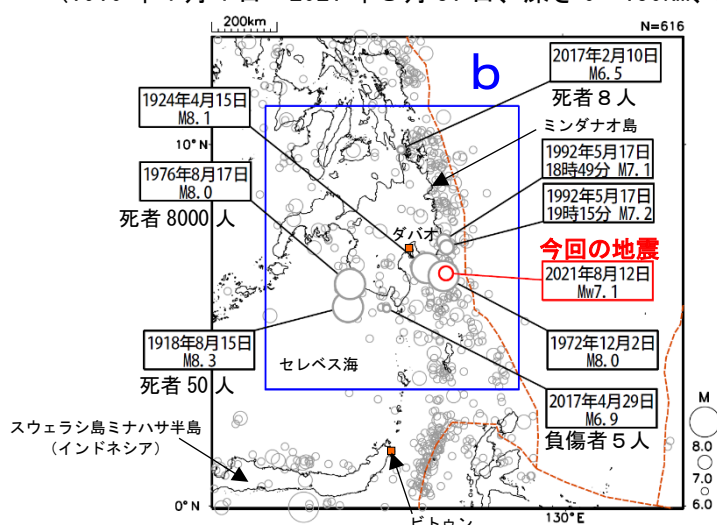


領域a内のM-T図

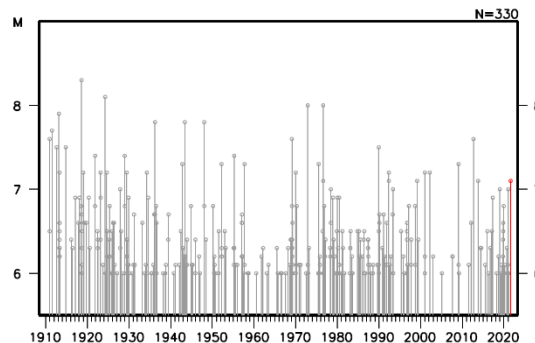


震央分布図

(1910年1月1日～2021年8月31日、深さ0～150km、M≥6.0)



領域b内のM-T図



※本資料中、今回の地震、2018年12月29日の地震の発震機構とMwは気象庁による。その他の震源要素は、1910年から1999年までは国際地震センター（ISCGEM）、2000年以降は米国地質調査所（USGS）による（2021年9月1日現在）。2017年2月10日、4月29日の地震の被害は、OCHA（UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所）による。その他の地震の被害は、宇津の「世界の被害地震の表」による。プレート境界の位置と進行方向はBird（2003）*より引用。

*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.